

全国初の京都独自モデルで ESG 投融資を推進 ～ 環境省グリーンファイナンスモデル事業に採択されました ～

- 京都府では、府内の中小企業の脱炭素化を進めるため、府内の金融機関と連携した ESG 投融資[※]を促進する京都独自スキームの構築に取り組んでいます。
- この度、本取組が環境省「令和4年度グリーンファイナンスモデル事例創出事業」に採択されましたのでお知らせします。

※ 環境 (E : Environment) 、社会 (S : Social) 、ガバナンス (G : Governance) の課題を考慮する投融資

1. 採択日

令和4年11月29日 (火)

2. 採択された取組

(1) 名称

京都ゼロカーボン・フレームワーク

(2) 取組の背景と課題

- ・京都府が目指す「2030年までに温室効果ガス排出量削減46%」の達成には、府内11万事業所の脱炭素化の底上げが必要
- ・そのためには、中小企業が ESG 投融資に取り組める環境整備等が課題

(3) 取組のポイント

- ・中小企業へのアプローチの方法として、地域金融機関が有する中小企業ネットワークに着目
- ・中小企業がサステナビリティ・リンク・ローン^{※1}を組成する際に必要な第三者評価に、京都府地球温暖化対策条例等に基づく「事業者排出量削減計画・報告・公表制度」を準用
- ・これにより、中小企業が条例制度に基づく報告書等を府に提出すれば、第三者評価に要する費用負担なくサステナビリティ・リンク・ローンを組成できる枠組み (フレームワーク) の創設を目指します。

※1 借手が環境対策等を推進する上で重要な指標 (KPI) を達成することを奨励するローン

3. 採択による効果

- ・採択による信頼性向上と国の PR 等による認知度向上
- ・フレームワーク認証^{※2}に要する費用軽減

※2 サステナビリティ・リンク・ローンを取り扱うフレームワーク等を構築する者 (本件であれば京都府) は、環境省のガイドラインにより、格付機関等から適合審査を受けることが必要

4. 今後の取組 (別紙参照)

- ・地域金融機関や工業団体等が参画する「地域脱炭素化・京都コンソーシアム (仮称)」を12月に設立します。
- ・コンソーシアムを通じ、府内企業への ESG 投融資を促進させる手法や体制の整備、金融機関から企業への脱炭素化に向けた提案力の向上を図ります。

【本報道発表に関するお問合せ】

府民環境部脱炭素社会推進課 理事 島田和幸 電話 075-414-4701

